

ぶんかざいまるちなび

No.39

# 文化財 知ナビ

このニュースレターは、「文化財に親しむ機会の提供に関する事業」の一つとして、身近な文化財情報をはじめ、文化財を活用した事業などの紹介を行っています。  
ぜひ学校教育や生涯学習の場で広くご活用ください。

## せかいいさん 世界遺産ってなんだろう？

「世界遺産」とは、地球ができてから過程や人類の歴史によって生み出され、過去から現在へと引き継がれてきた宝物で、未来に引き継いでいくべき貴重なものとしてユネスコの世界遺産条約にもとづいて「世界遺産一覧表（リスト）」に登録された物件のことです。国際的な協力による保護や保全を図ることを目的としています。

ぶんかざい 文化遺産

例：ピラミッド（エジプト）



世界遺産には  
3種類あるよ！

しぜんいさん 自然遺産

例：知床（北海道）



ふくごういさん 複合遺産

例：マチュピチュ  
（ペルー共和国）



※複合遺産とは、文化遺産と自然遺産の両方の価値を兼ね備えているもののことです。

## じょうもんぶんか 北の縄文文化を知ろう！

縄文文化は、1万年以上にわたって、大きな争いもなく続いた文化です。

縄文時代の人々は、厳しくも豊かな自然の中で定住し、狩猟・漁労・採集を生活の基盤として、こころ豊かに暮らしていました。



家は、地面に穴を掘ってつくった「竪穴住居」に住んでいました。

シカ・アザラシなどの獣や、サケ・ホッケなどの魚、ハマグリ・アサリ・ホタテなどの貝、クリ・クルミなどを食べ、その骨や角などを、いろいろな道具の素材として利用しました。



お守りや指導者の権威の象徴、成人の証などとして粘土・石・木・貝・骨などで作ったアクセサリー（装身具）を身につけていました。

食べ物の煮炊きや貯蔵には、縄目の模様がついた土器を使っていました。また、粘土・石・角を使って、人や動物などの形を表現し、祈りや祭りの道具として使っていました。



縄文時代の人々は、舟で海を活発に往来していたのでしょ。北海道の遺跡から、新潟県産のひすいや秋田県産のアスファルトが発見されるのはその証でしょう。

## 縄文遺跡群、世界遺産登録への取組

北海道、青森県、岩手県、秋田県の4道県には、縄文時代に生きた人々の知恵や工夫を現在に伝える、とても価値の高い遺跡が数多く残されています。

これらの遺跡を人類みんなの宝として未来へ引き継いでいくために、4道県と遺跡のある市や町では、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産の登録を目指しています。



登録推進キャラクター  
「もんぐる」

### 世界文化遺産の登録を目指す 北海道内の構成資産



キウス周堤墓群 (千歳市)



いりえ・高砂貝塚 (洞爺湖町)



北黄金貝塚 (伊達市)



垣ノ島遺跡 (函館市)

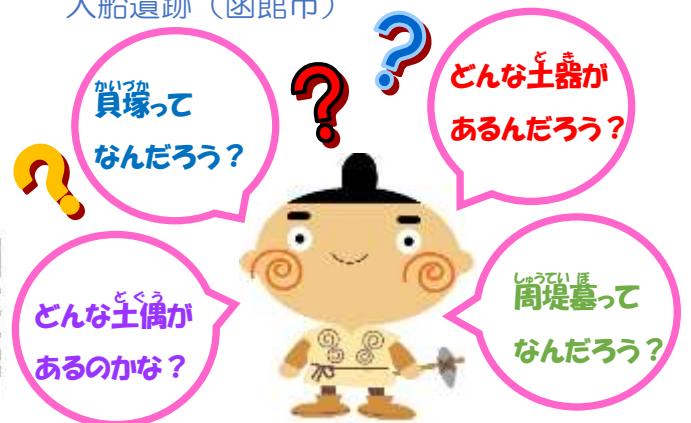


大船遺跡 (函館市)

詳しく知りたい時には  
「北海道・北東北の縄文遺跡群」  
ホームページをごらん下さい！  
＼もっと知りたいときにおすすめ！／



<https://jomon-japan.jp/kids>



文化財ニュースレター 文化財まる知ナビ No.39

発行 平成 30 年 9 月 14 日 編集・連絡先 北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課

【お問い合わせはこちらへ】 電話 011-231-4111 (内線) 35-618 メール kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp